


届出住宅の宿泊日数，宿泊者数等及び苦情に係る報告書

（宛先）京都市長	令和〇〇年〇〇月〇〇日
報告者の住所（法人にあっては，主たる事務所の所在地）	報告者の氏名（法人にあっては，名称及び代表者名。記名押印又は署名） 京都 次郎  電話〇〇〇-〇〇〇〇

住宅宿泊事業法第14条及び京都市住宅宿泊事業の適正な運営を確保するための措置に関する条例第16条第1項の規定により，届出住宅における宿泊日数，宿泊者数等及び苦情の状況について報告をします。
この報告書の記載事項は，事実と相違ありません。

届出住宅の所在地	京都市中京区寺町御池通上る上本能寺前町488番地
届出番号	M26〇〇〇〇〇〇〇〇
報告対象の期間	平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月 分

a 宿泊日（報告対象の機関において，届出住宅に人を宿泊させた日付の下に〇を付けてください。）

1	2	3	4	5	6	7
	○	○	○		○	
8	9	10	11	12	13	14
		○	○	○	○	
15	16	17	18	19	20	21
○	○	○		○	○	
22	23	24	25	26	27	28
	○	○	○		○	○
29	30	31	1	2	3	4
○	○	○	○		○	
5	6	7	8	9	10	11
		○		○		
12	13	14	15	16	17	18
	○		○	○		
19	20	21	22	23	24	25
		○		○	○	
26	27	28	29	30	31	
	○		○	○		

b 宿泊客数，国籍別内訳（報告対象の期間における国籍ごとの合計人数を記載してください。）

日本	韓国	台湾	香港	中国	タイ	シンガポール
2人	8人	4人	2人	10人	3人	0人
マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム	インド	英国	ドイツ
4人	2人	0人	0人	5人	2人	2人
フランス	イタリア	スペイン	ロシア	米国	カナダ	オーストラリア
3人	0人	0人	0人	6人	2人	4人
その他	bの人数の合計を記載					
8人	aで〇を付けた各営業日の宿泊者数の合計人数を記載					

aの〇の数の合計を記載

宿泊日数 (aの合計)	宿泊者数 (bの合計)	延べ人数
34日	67人	112人

事業開始後，届出住宅から生じた廃棄物を処理した後の最初の定期報告の時に，廃棄物を適正に処理したことを証する書類（収集運搬許可業者との契約書の写しや領収書の写しなど。）を報告書と併せて提出してください。

苦情を受けた件数	2件	内容	別紙参照（苦情が0件の場合は別紙の提出は不要です。）
----------	----	----	----------------------------

苦情内容等			
①	苦情を受けた日時	平成〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時頃	苦情を受けた件数が0 であれば, 別紙の提出は不 要です。
	苦情の内容	宿泊客が深夜に騒いでいた。	
	苦情への対応の状況	現地対応管理者から宿泊客に対して騒がないように注意を行った。	
②	苦情を受けた日時	平成〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時頃	
	苦情の内容	宿泊客が届出住宅に到着するまでに道に迷っている。	
	苦情への対応の状況	現地対応管理者が宿泊客を届出住宅まで案内した。	
③	苦情を受けた日時		
	苦情の内容		
	苦情への対応の状況		
④	苦情を受けた日時		
	苦情の内容		
	苦情への対応の状況		
⑤	苦情を受けた日時		
	苦情の内容		
	苦情への対応の状況		
⑥	苦情を受けた日時		
	苦情の内容		
	苦情への対応の状況		